

2010年度

科目名	日本の歌謡A				
担当教員	佐々木 聖佳				
配当	文 2・教育2・人間2		コード	22190	
開期	前期	講時	火曜日2限	単位数	2
授業テーマ	歌謡文芸に親しむ				
目的と概要	この講義は、国文学の立場から、日本に古代から伝わる歌謡を取り上げ、時代的な背景や歌の発想、表現などの諸問題について講じる。多くの人の心をとらえ口ずさまれてきた歌謡には、その時代の人々の感情や感覚が文芸として昇華された、優れたものが多い。古代から近代までの歌謡について、詞章面からそのよさ、おもしろさを味わい、現代にも通じる歌の力について考えていくことを目的とする。なお、「日本の歌謡A」では、古代から鎌倉時代までの歌謡について講じる。				
成績評価法	前期末試験50%・平常点(授業時のレポート)50%				
テキスト	使用しません。				
参考書	必要に応じて、講義の中で紹介します。				
履修に当たっての注意・助言	ビデオを見たり、音楽を聴いたり、自分で作業をしたり、考えたりという作業の中から、歌謡を多角的にとらえていきます。積極的に参加してください。				
講義計画					
第1回 講義概要 及び 日本歌謡史 第2回 古代歌謡(1) 童謡 第3回 古代歌謡(2) 歌垣—古代歌謡生成の場 第4回 古代歌謡(3) 歌垣—お手をどうぞ 第5回 古代歌謡(4) 歌垣—あなたのお名前は？ 第6回 古代歌謡(5) 橋のたもとで聞く話 第7回 古代歌謡(6) さかさま歌の呪力 第8回 雅楽(1) 雅楽とその時代 第9回 雅楽(2) 雅楽の歴史 第10回 雅楽(3) 映画における雅楽 第11回 今様(1) 今様を作ろう 第12回 今様(2) 白拍子静の造形 第13回 今様(3) 『梁塵秘抄』の歌 第14回 歌の力—南島歌謡 第15回 まとめ—歌謡文芸の世界					